

琵琶湖版SDGs 『マザーレイクゴールズ(MLGs)』 の概要と私たちにできること

琵琶湖環境科学研究センター
専門研究員 佐藤祐一

話の流れ

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは

琵琶湖の課題～水質と魚介類について～

私たちにできること

「SDGsを自分ごとに」って言うけれど



- 2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標
- 頻発する大規模災害や新型コロナウイルス感染症など、経験したことの無い災いにさらされているいま、暮らし方や生き方を根本から見つめ直し、**持続可能な社会をつくる**ことが喫緊の課題



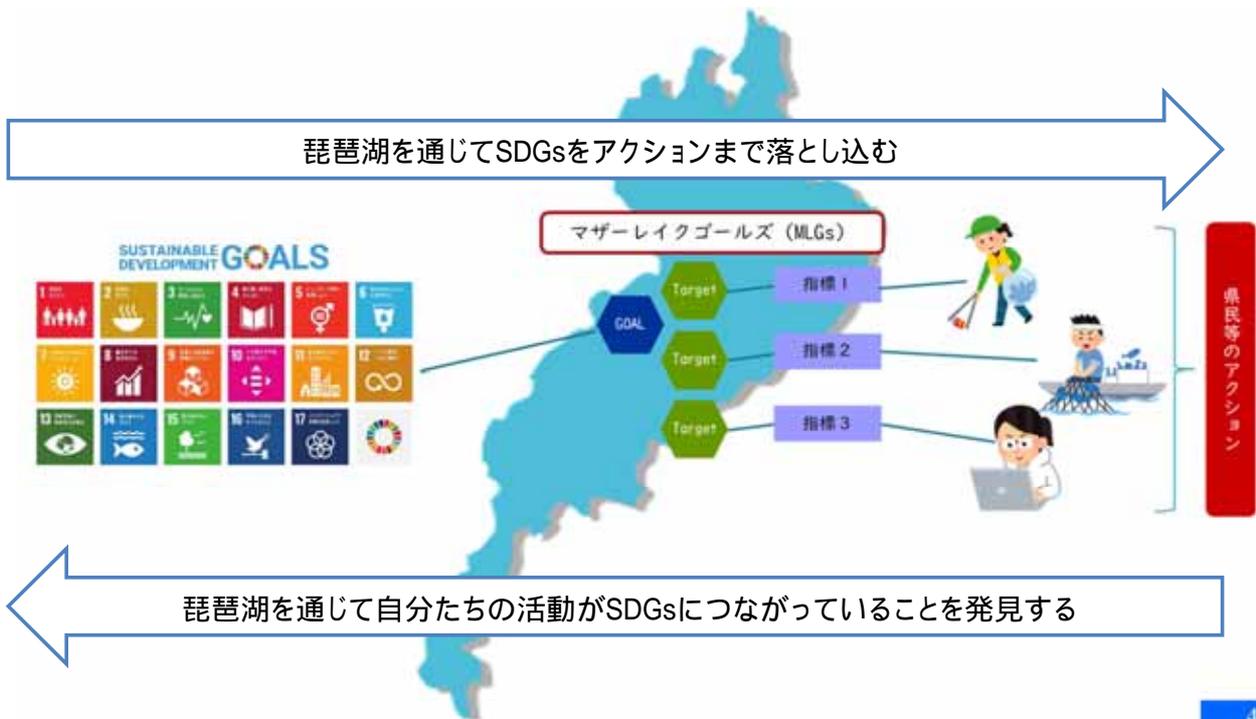
でも正直、、、
SDGsってピンとこない！

3

MLGsとは「琵琶湖」を切り口として SDGsと私たちの暮らしをつなぐ2030年の目標

琵琶湖版のSDGs = **マザーレイクゴールズ(MLGs)**を作成

琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む



4

MLGsで目指す13のゴール



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から



5

ゴール① 清らかさをを感じる水に



アオコや赤潮などのプランクトンの異常発生が抑制され、飲料水としても問題がなく、思わず触れたくなるような清らかな水が維持される

6

ゴール②

豊かな魚介類を取り戻そう

2
豊かな魚介類を
取り戻そう



在来魚介類の生息環境が改善し、資源量・漁獲量が持続可能な形で増加するとともに、人々が湖魚料理を日常的に楽しむ

7

ゴール③

多様な生きものを守ろう

3
多様な生き物を守ろう



生物多様性や生態系のバランスを取り戻す取組が拡大し、野生生物の生息状況が改善するとともに、自然の恵みを実感する人が増加する

8

ゴール 水辺も湖底も美しく



川や湖にごみがなく、砂浜や水生植物などが適切に維持・管理され、誰もが美しいと感じられる水辺景観が守られる

ゴール 恵み豊かな水源の森を守ろう



水源涵養や生態系保全、木材生産、レクリエーションなどの多面的機能が持続的に発揮される森林づくりが進み、人々が地元の森林の恵みを持続的に享受する

ゴール⑥

森川里湖海のつながりを健全に



森から湖、海に至る水や物質のつながりが健全に保たれ、湖と川、内湖、田んぼなどを行き来する生き物が増加する

11

ゴール⑦

びわ湖のためにも、 温室効果ガスの排出を減らそう



日常生活や事業活動から排出される温室効果ガスを減らす取組が広がり、琵琶湖の全層循環未完了などの異変の進行が抑えられる

12

ゴール 気候変動や自然災害に 強い暮らしに



豪雨や渇水、温暖化などの影響を把握・予測し、そうした事態が起きても大きな被害を受けない暮らしへの転換が進む

13

ゴール 生業・産業に 地域の資源を活かそう



地域の自然の恵みを活かした商品や製品、サービスが積極的に選ばれ、地域内における経済循環が活性化し、ひいては環境が持続的に守られる

14

ゴール⑩

地元も流域も学びの場に



琵琶湖や流域、自分が生活する地域を環境学習のフィールドとして体験・実践する機会が豊富に提供され、関心を行動に結びつけられる人が増加する

15

ゴール⑪

びわ湖を楽しみ、愛する人を増やそう



レジャーやエコツーリズムなどを通じて自然を楽しむ様々な機会が増え、琵琶湖への愛着が育まれる

16

ゴール

水とつながる祈りと暮らしを 次世代に



水を敬い、水を巧みに生活の中に取り込む文化や、水が育む生業や食文化が、将来世代へと着実に継承される

17

ゴール

つながりあって目標を 達成しよう



代や性別、所属、経験、価値観などが異なる人同士、また異なる地域に住まう人同士がつながり、琵琶湖や流域の現状、これらについて対話を積み重ね、その成果を共有できる機会が十分に提供される

18

MLGsアジェンダに記載されていること



対立する他のゴール



清らかさを感じる水質と、
多様な魚介類を育む水質
は、必ずしも一致しない



生態系の保全と構造物による
防災対策はトレードオフする
場合がある

ターゲット

- 在来魚介類の漁獲量・資源量の増加
- 魚介類の生息環境を改善する取組の増加
- 漁業資源の適正管理

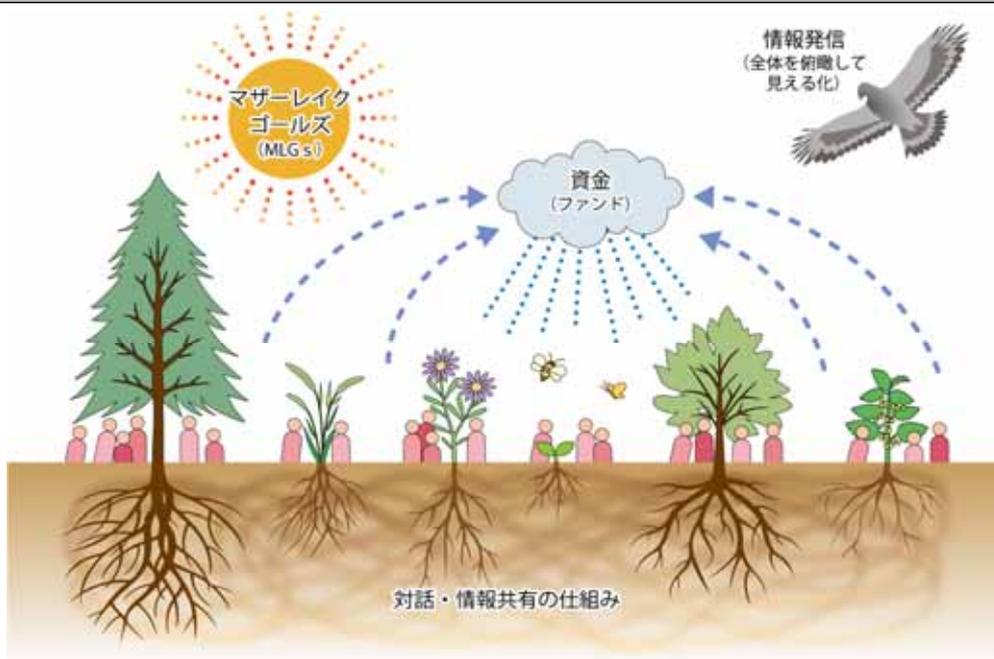
アクション

- 月に1度は旬の湖魚を食べる。
- 小さな自然再生活動に参加する。
- 琵琶湖の魚介類を使った商品を開発する。
- 外来魚の駆除を行う。等

19

MLGsの達成に向けて～「活動の生態系」を築く～

多様な活動がそれぞれの思いにもとづき進められ、ときにつながり合い、全体としてみれば調和が保たれている、あたかも**健全な森の生態系**に見られるような**緩やかなつながり**を築く



20

多様な活動の生態系をつくるために

MLGs 達成に向けた様々な活動を取材・情報収集し、情報発信する。

活動間の対話と情報共有を豊かにする。

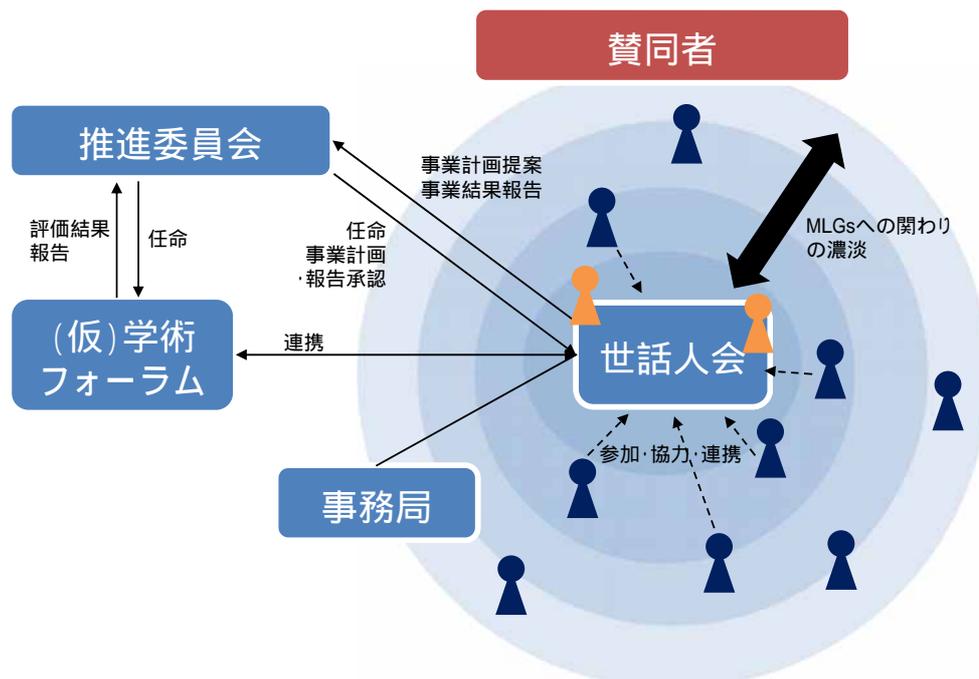
学術的知見に基づき琵琶湖の状況を客観的に評価する。

環境保全活動に係る資金循環を作り上げる。



21

MLGsの推進体制



世話人会：MLGsに賛同して活動を推進する人のうち、事業計画・報告の作成や様々な事業の意思決定などを担うコアな人たちの集まり。

22

話の流れ

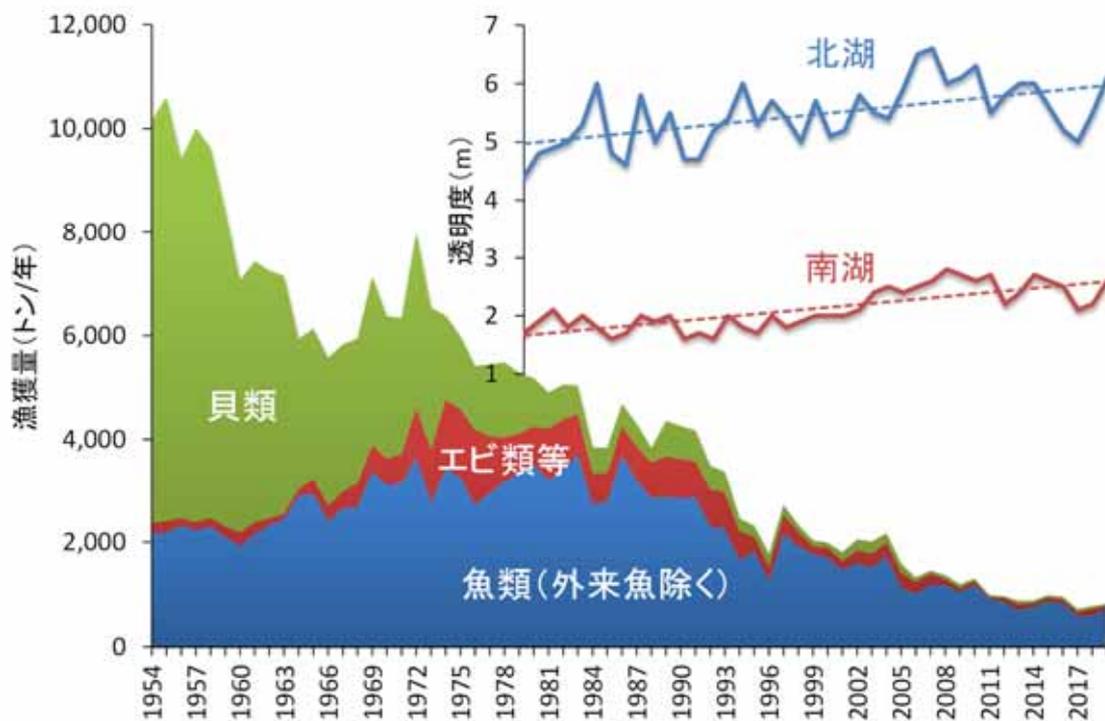
マザーレイクゴールズ(MLGs)とは

琵琶湖の課題～水質と魚介類について～

私たちにできること

23

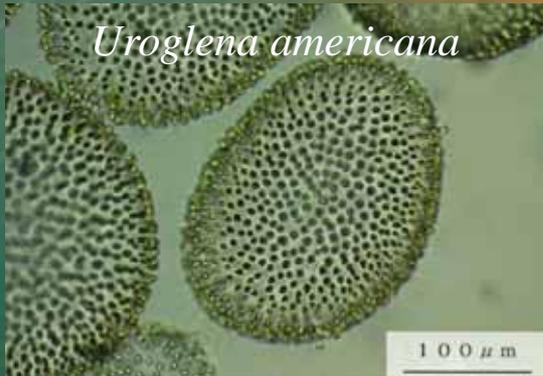
琵琶湖の漁獲量と透明度



出典: 滋賀県水産統計(漁獲量)、滋賀県ら調査(透明度)

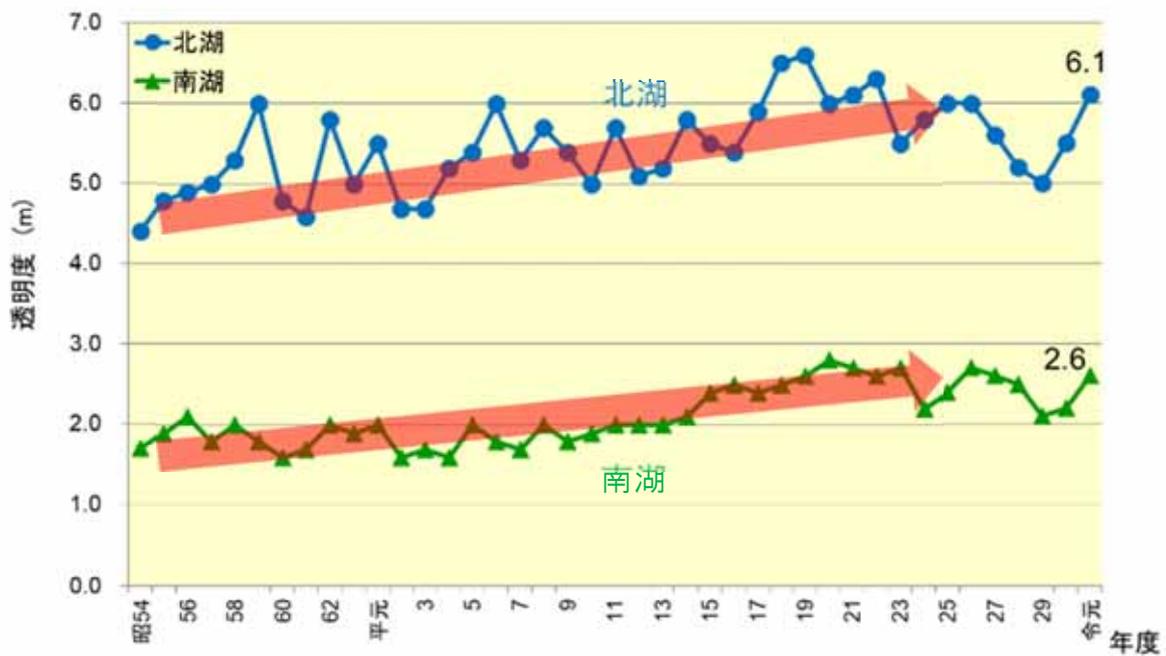
24

淡水赤潮の大発生(1977年)



写真出典：滋賀県

琵琶湖の透明度



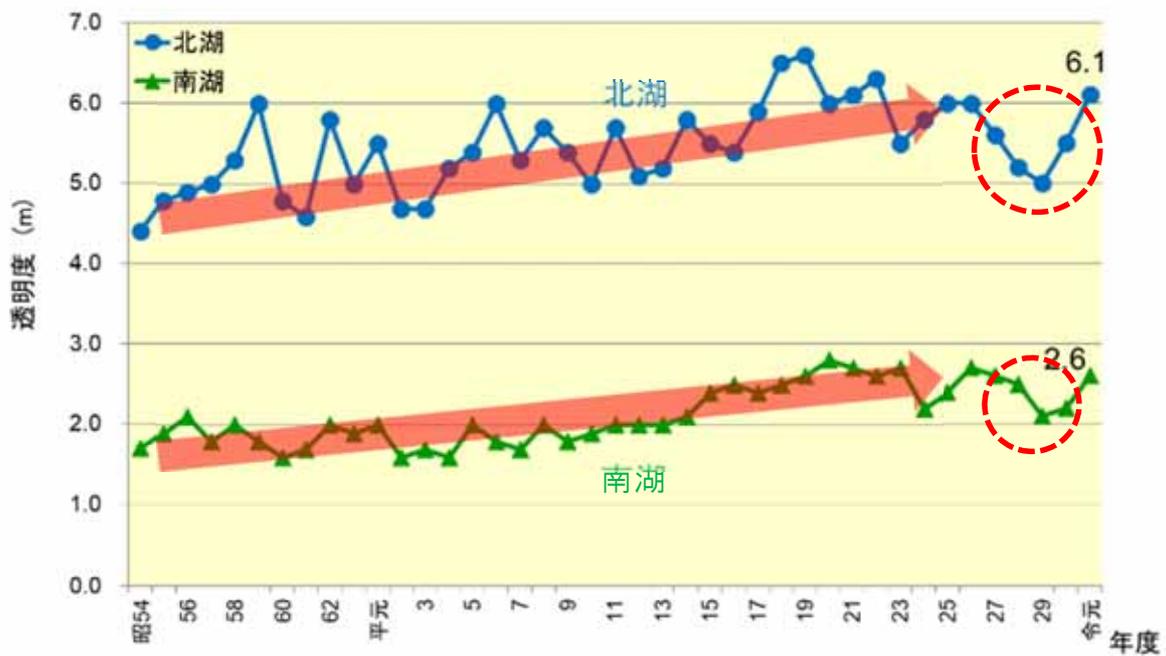
北湖28、南湖19地点の平均値

出典：滋賀県「びわ湖なう2020」

2018年8月8日の琵琶湖南湖

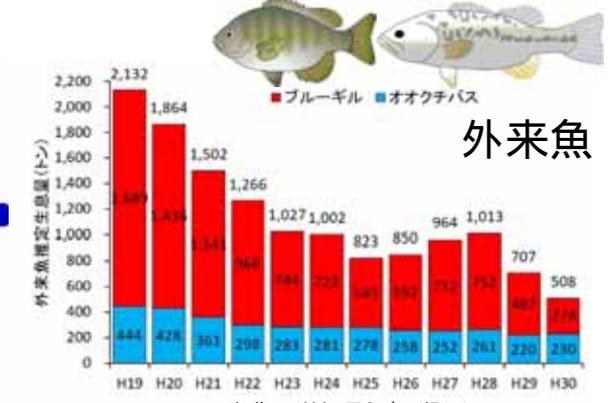
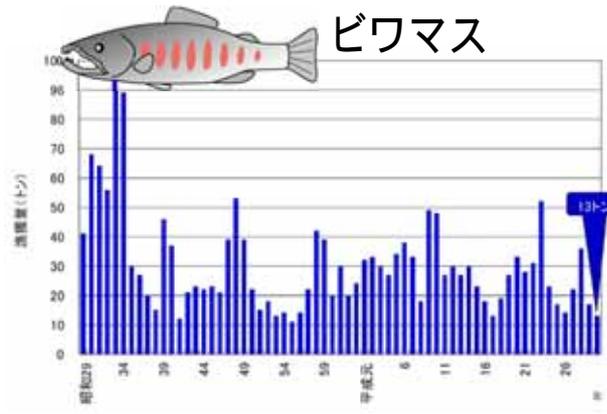
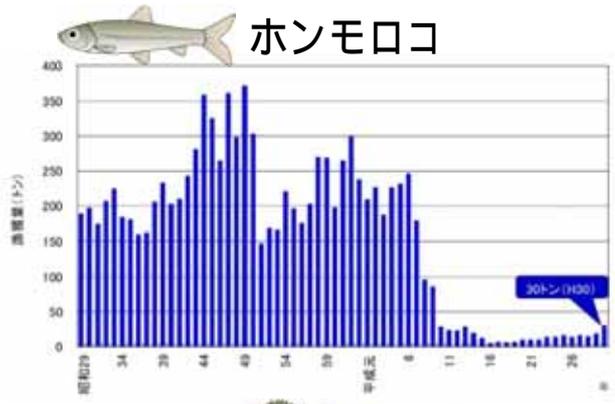
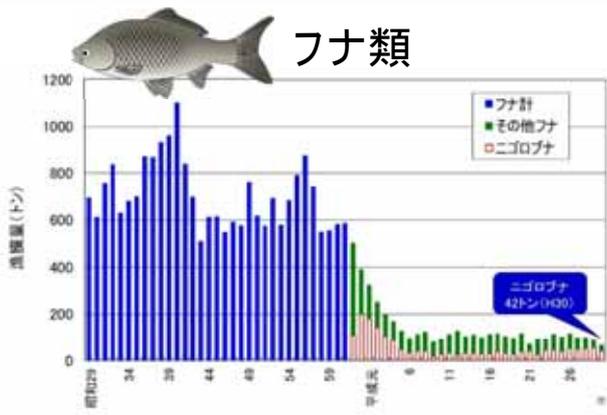


琵琶湖の透明度



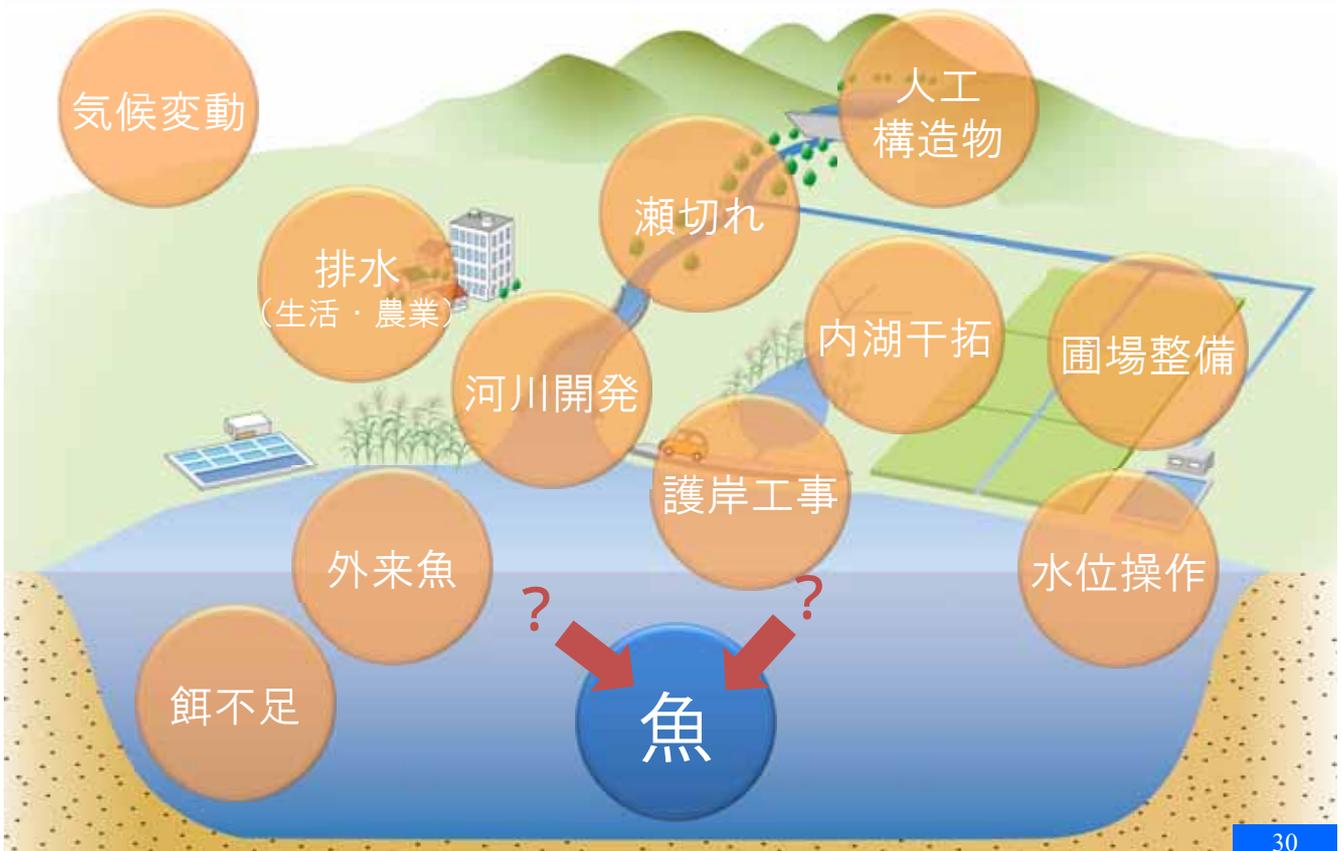
北湖28、南湖19地点の平均値

傾向は魚種により異なる



出典：滋賀県「びわ湖うな2020」

在来魚が少なくなった原因は？



話の流れ

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは

琵琶湖の課題～水質と魚介類について～

私たちにできること

31

美味しく食べて、びわ湖を知ろう



32

びわ湖を「知る」「守る」につながるものを買おう



びわ湖を楽しく綺麗にしよう



生きものを守り、増やす活動に参加しよう



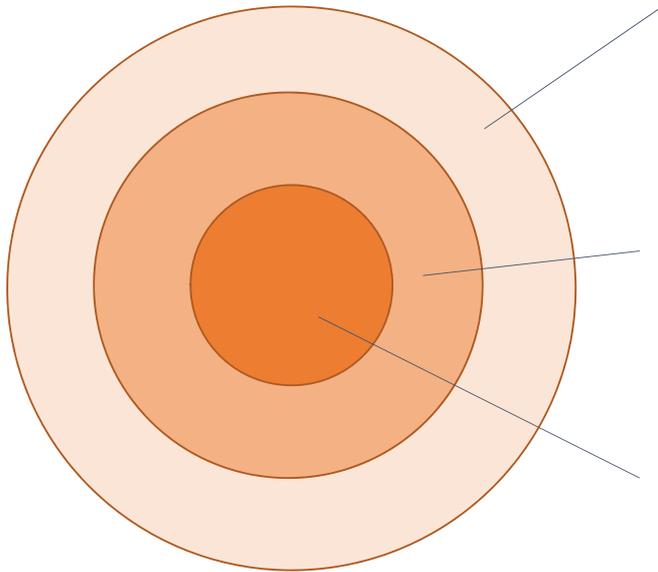
35

びわ湖について多様な人と語り合おう



36

いろんな参加で、みんなでつくる！



まずは気軽に！

- ・ MLGsに賛同
- ・ ニュースサイトを購読
- ・ ワークショップに参加
- ・ 月1おしゃべり会に参加

ちょっとチャレンジ

- ・ MLGsトークルームに参加してワークショップを企画
- ・ ライターになって記事を書く

慣れてきたら...

- ・ MLGs世話人としてMLGsの推進に参画

37

月1おしゃべり会の様子(2021/7/12)



38

全ての情報はニュースサイトから！



<https://mlgs.shiga.jp/>

